



2022年3月14日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第63号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. アフリカのココア:コートジボワールの降雨はミッドクロップに良い兆し (3/7)

コートジボワールに雨が戻り、来月初めに開始されるカカオの年2回の収穫の内、小規模な収穫であるミッドクロップの見通しを後押ししている。西部の町 Gbapleu の農家 Victor Nessemon 氏は、「今年は乾季が厳しく、心配していたが、雨が戻ってきたことですべてが正常に戻り、中期の収穫に向けてカカオの木を助けるだろう」と述べた。世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールの中央と南部の生産地で行われた調査では、作物の成長を助ける定期的な降雨も報告されており、少し前の乾燥に対する懸念は和らいできた。

カメルーンでは、ヤウンデの北 66 キロ (41 マイル) にある Ntui で 5 ヘクタールの農場を所有する生産者の話によると、カメルーン第 2 の生産高を誇るこの周辺地域のカカオ生産者は、この 2 日間の降雨によりミッドクロップの収穫に向けて好条件を見込んでいるとのこと。ただ、一方で、農家の中には、乾燥した状況が再び訪れることを恐れて、予想より早い今回の雨に慎重になっている人もいます。

ナイジェリアでは、南東部で乾燥した天候が続き、作物に「衰弱の影響」を与え始めていると、イコム近郊で農業を営むエニゲ・ティクさんは言う。「土壌も影響を受けており、急速に水分が失われ、乾燥が進んでいます」と彼は言います。一方で、同国の南西部の一部では、雨が降って作物に安心感を与えている。

2. コートジボワールの一部で雨が降り、カカオの中間作物の希望が高まった (3/7)

コートジボワールのカカオ栽培地域の一部で先週、平均以上の雨が降り、来る 4 月から 9 月にかけてのミッドクロップの豆サイズと品質を押し上げる可能性があるとして、生産者は月曜日に述べた。世界一のカカオ生産国であるコートジボワールは、11 月から 3 月までの期間は乾季の真っ只中で、雨はほとんど降らない。全国の生産者は、雨が降れば、過去数週間の乾燥した天候で懸念されていたカカオ豆の小粒化から鞘が回復すると説明している。今後 2 週間の間に十分な降雨があれば、生育状況を改善し、5 月までに十分なさやを育てるのに役立つだろう、と生産者は期待を込めている。先週、西部の Soubre と Man、南部の Divo、中部の Yamoussoukro では、降雨量は平均以上でした。

“雨は予定通り降りました”と、Yamoussoukro 郊外で農業を営むジョナス・コフィは語った。この地域では先週、21.7 ミリメートルの雨が降り、5 年間の平均を 8.8 ミリメートル上回った。

中央西部の Daloa 地域でも作物を育てるのに十分な降雨があったと生産者は言う。この地域の降雨量は 14.5 ミリで、平年より 0.2 ミリ少ない程度だった。しかし、南部の Agboville、東部の Abengourou、中部の

Bongouanou では依然として雨が少なく、生産者はミッドクroppが通常より少なくなると懸念している。Bongouanou 近郊でカカオ栽培を営む Basile Lavry 氏は、「(天候が) まだまだ乾燥しているため、まだ木はほとんど収穫できない状態だ」と語った。先週は 8 ミリの雨が降り、平均より 4.5 ミリ少なかったという。

生産者によると、地元の買い手はカカオ豆が小さいため、公式の農園価格である 1kg あたり 825 CFA フランより低い 650 CFA フラン (1.07 ドル) を支払っているという。

先週のコートジボワールの平均気温は 28.1 °C から 32.3 度であった。

3. 各産地のカカオ豆の価格指標 米国倉庫渡しベース (3/12)

Market	Product	Terms	Delivery	Last Update	Last Price	Cur/unit	Area
SOFTS	ICCO Daily (US\$/ton)	WWW Indices	JAN22	12 Jan 22 23:00	2490	USD/mT	WLD
SOFTS	ICCO Daily (SDR/ton)	WWW Indices	JAN22	12 Jan 22 23:00	1778.19	SDR/mT	WLD
SOFTS	Main Crop Ghana, Grade 1	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	3022.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Main Crop Ivory Coast, Grade 1	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	2922.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Main Crop Nigerian, Grade 1	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	2846.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Ecuador ASE	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	2744.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Sanchez f.a.q.	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	2837.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Indonesian f.a.q 115/100	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	2662.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Natural Cocoa Butter	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	5729.00	USD/mT	USAC
SOFTS	Natural Cocoa Powder	X-dock U.S.A.C	JAN/FEB22	12 Jan 22 23:00	4837.00	USD/mT	USAC

<https://www.commodity3.com/physical/softscocoainx/softs-cocoa-icco-and-cmaa-indices>

4. ガーナ国会でココアボッドのシンジケートローンの使用用途について、懸念を指摘 (3/9)

ジュアボソの国会議員であるクワベナ・ミンタ・アカンドーは、木曜日に、COCOABOD は、2020/2021 年のクroppにおける約 90 万トンのカカオ豆の購入に使われるはずだった資金の行方について具体的な説明をしていないと主張した。しかし、これに反論し、下記の通りリリースした声明の中で、「2021 年 9 月に組成、実行を終了したクroppシーズンのシンジケートローンの会計処理において、すべての法定要件と金融パートナーとの合意を満たしている」ことを明らかにした。

さらに、COCOABOD は、現在の 2021/2022 年シーズンのために調達した 15 億米ドルのファシリティのうち 14.5 億米ドルを既に引き落とし、カカオ豆の購入とその他の付随する費用に充てたことを明らかにし、「COCOABOD は、現在の作期内に農民と LBC に対するすべての財務的義務を果たす予定であり」この議員による誤った主張を無視するよう国民に促した。

一方で、議員側の COCOABOD に対する不信は下記のような事実からきていると説明している。「90 万トンの収穫数量を見込んでシンジケートローンを完了したはずであるが、現在収穫数量が 40 万を超えた程度であるにも関わらず、追加のシンジケートローンの設定を申請してきているのは矛盾しているのでは。」



PRESS RELEASE

GHANA COCOA BOARD

DATE: 11TH MARCH 2022

ALL MEDIA HOUSES

**RE: GOV'T, COCOBOD UNABLE TO ACCOUNT FOR \$1.3BN SYNDICATED LOAN
– AKANDOH CLAIMS**

Ghana Cocoa Board (COCOBOD) has taken notice of a news story that a Member of Parliament has accused the government and COCOBOD of not accounting for a US\$1.3billion cocoa syndicated loan for the 2020/2021 crop season.

Contrary to the assertions of the MP for Juaboso, Kwabena M. Akandoh, COCOBOD has met all its statutory requirements and agreements with its financial partners in accounting for the syndicated loan for the 2020/2021 crop season which closed in September 2021.

Furthermore, COCOBOD has drawn down US\$1.45 billion out of the US\$1.5 billion facility procured for the present 2021/2022 season, which has gone into financing the purchase of cocoa and other industry costs.

Information about payments to LBCs can be verified from the LBCs and COCOBOD, to avoid putting out false information.

We urge the public to disregard the false claims as COCOBOD is on course to meet all its financial obligations to farmers and the LBCs within the current crop season.

**ISSUED BY:
PUBLIC AFFAIRS DEPARTMENT**

5. ハーシー社などが値上げする中、コートジボワールのカカオ農家は気候変動に直面 (3/10)

世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールなどの輸出国からのカカオのコスト上昇により、チョコレートメーカーは今年、値上げを実施する見通しだ。米国最大のチョコレート製品メーカーであるハーシー社は先月、原材料の高騰を理由に製品の価格を全面的に引き上げると発表した。

一方、Dana Mroueh (コートジボワールの Bean to Bar スタイルのショコラティエ) は、世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールでカカオの価格が上昇しているのを目の当たりにしているという。

「ここ数年、カカオの価格が上がっていることに気づいています。特にオーガニックカカオの価格が高くなっています。」

COVID-19の大流行でアメリカのチョコレート需要が高まり、コートジボワールのカカオ生産者はその需要に追いつくのに苦労している。専門家によれば、その理由のひとつは気候変動の影響だという。ハーバード大学によると、2030年までに西アフリカの一部は暑さと乾燥のためにカカオを十分に生産できなくなるという。西アフリカのガーナとコートジボワールだけで世界供給の70パーセントを生産しています。

カカオ生産者のRaphael Konan Kouassi氏は、緑と黄色の太ったカカオのさやが木の幹からぶら下がっている日陰の果樹園を案内してくれた。彼は、気温の上昇と雨の不足のため、毎年収穫量が減っていると語った。「ハイシーズンには、ほとんどすべての若い植物が枯れてしまいます。水が行き届かなければ、カカオの収穫はないのです」と彼は言います。

Kouassiは、気候変動の変動に耐えうる強いカカオの木という紹介で苗木の政府の援助を受けていますが、政府の配布は、苗木が生き残るには不適切な時期に供給され生き残るのが難しい場合もあるという。

国際的な科学組織である国際農業研究センター連合（CISC）のクリスチャン・バン氏は、気候の変化に関する情報は、生産者が作物をよりよく育てるための情報を提供することができるかと述べています。

「私たちが見ているのは、乾季と雨季の開始時期が変わる可能性があるということです。今までの気候のパターンへの信頼性が低くなっているのです。シーズン中、乾季に雨が降らなかったり、雨季に乾季があったり、全体的な降雨分布や降雨量が変化することがあります」とバンは述べています。

このデータから、生産者はカカオの生産をやめ、他の作物にも多角化したほうがよいことがわかるという。しかし、ハーシー社に供給しているアイボリーの会社のCEOであるオルガ・イエヌー氏は、カカオの価格が上がることは生産者にとって歓迎すべきことであると述べた。

「私の考えでは、生産者は一生懸命働いているのだから、もっと良い価格を得るべきだし、もっと稼ぐべき。」彼女の願いは、意図しない形であれ、どうやら叶いそうだ。気候変動の影響を受けながら、価格は高騰を続けているのだから。

6. ハルマッタン風の終息により、ナイジェリア産カカオの収穫量が増加 (3/9)

ナイジェリアでは季節的なハルマッタン風が終わり、2021-22年シーズンのミッドクロップ収穫を後押しするはずだと、トレーダーは火曜日に述べた。

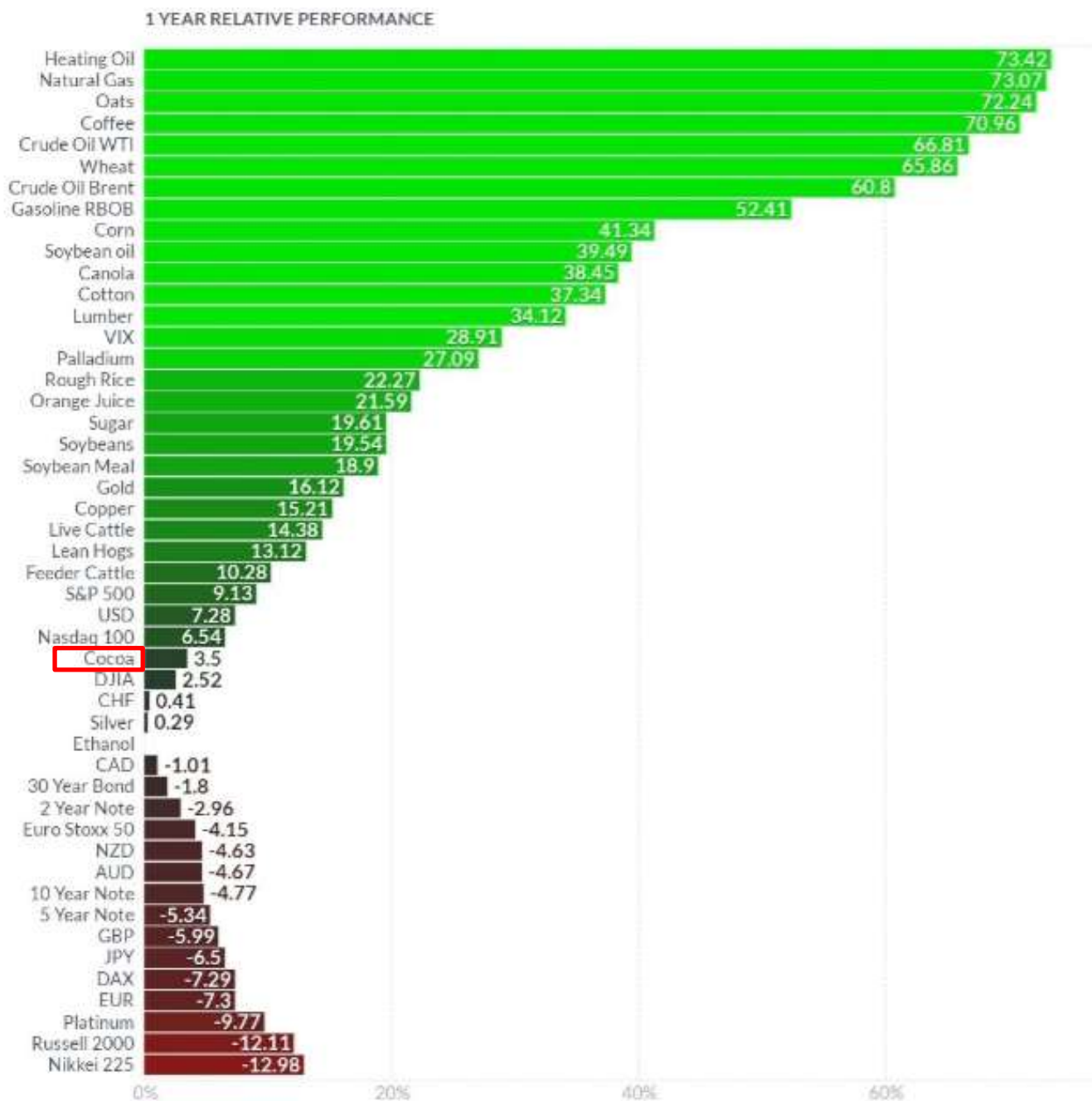
トレーダーによると、ハルマッタン風の終わりは通常、カカオ作物の成長をサポートする降雨に続く。ナイジェリア・ココア協会のノジーム・オロミデ氏によると、ナイジェリアの年間ココア生産量の70%を占める同国南西部では、最近ハルマッタン風がカカオの生育を妨げている。

「ハルマッタン風はナイジェリア南西部と南東部のすべてのカカオ生産州で完全に停滞している。雨は降っているものの、南西部では高温で乾燥した天候がまだ続いています」とトレーダーは付け加えました。

一方、国内第2位のカカオ生産地である南東部のクロス・リバー州では、風も止み雨が降り始めたという報告もされ始めている。ナイジェリアではそろそろミッドクロップの収穫が始まろうとしている様子だ。

7. 先物、株価、金融商品等の1年間比較 (3/12)

下記のグラフは、過去1年間で各商品先物等の価格の変化率を示したものである。カカオ豆は商品の中では比較的安定した変化で、3.5%上昇。ロシア-ウクライナ影響銘柄（エネルギー、穀物関係）は軒並み大きな変化率を示している。



8. カメルーン港でココア価格が上昇、旺盛な需要で (3/8)

カメルーン、ヤウンデーカメルーンの国立ココア・コーヒー委員会が月曜日に発表した数字によると、カメルーンの主要港ドゥアラで、強い需要の中でカカオに対する支払い価格が回復している。NCCBの統計によると、カカオ豆は港での取引価格で1キログラムあたり1301CFAフラン（2.17ドル）で販売されており、木曜日と比較して12%上昇している。NCCBのデータによると、前の2週間、ココア価格は15.5%下落していた。

一方、同国南西部の価格は金曜日の1,185 XAFから1,100 XAFへとわずかに下落し、中央部では1,000 XAFで横ばいを維持している。

9. バリー・カレボー、アジア太平洋地域の新社オフィスの正式オープンを祝う (3/8)

シンガポール 2022年3月8日 /PRNewswire/ -- バリーカレボーは先週金曜日（2022年3月4日）、シンガポールの新しい地域本部を OUE ダウンタウン 2 ビルに正式に開設し、同社のグループ CEO ピーター・ブーンが出席した式典を開催しました。この新しい施設は、1997年以來 25年にわたる同社の同国でのプレゼンスと、地元および地域のチョコレートとココア市場への継続的な投資をさらに確たるものにするものです。

バリーカレボーのアジア太平洋地域オフィスは、2014年からシンガポールに本社を置き、以前はミレーニアタワーにありました。シンガポールは、これまでも、そしてこれからも、会社の成長、イノベーション、デジタル化の目標を支える重要な地理的ハブとしての役割を担っていきます。特にこの3年間は、オーストラリア、中国、インド、インドネシアに新たなオフィスや工場が誕生しています。

バリー・カレボーのアジア太平洋地域担当社長であるジョー・ティスは、「新しい地域本社の落成は、持続可能な成長の次の章を意味し、長期的にシンガポールに投資し発展させるというバリー・カレボーのコミットメントを再確認するものです」と述べています。私たちは、政府、業界団体、お客様やパートナーと協力し、この地域における責任あるチョコレートとココアのリーダーになるという私たちの野望を実現することを楽しみにしています。”



*新しい地域本部は、新しいハイブリッド環境（自宅&オフィス）でのコラボレーションを優先する

バリーカレボーは、シンガポールのセノコ・サウスロードでチョコレート工場も運営しています。この施設は、同国初で最大の工業用チョコレート工場です。現在、シンガポールには 250 人以上の従業員がおり、地域本部には地域営業、サプライチェーンマネジメント、コーポレートファンクションの各チームも置かれています。ダウンタウンに位置する新オフィスは、ビジネスライン間のコラボレーションを強化し、新しい技術機能や福利厚生施設など、社員の幸福を最優先に考えた事業成長戦略に対応したものです。多くの企業と同様に、バリーカレボー社もハイブリッドモデルを採用しており、多くの社員がオフィスでの仕事だけでなく自宅でも仕事をすることで、より多くのコラボレーションや活動ベースのミーティングができるようになっています。

バリー・カレボーのアジア太平洋地域人事担当副社長であるメグナ・シュクラは、「私たちの新しいオフィスは、創造性を刺激し、コラボレーションを促進する柔軟な職場環境を作るために設計されました」と述べています。私たちは、従業員が健康を維持できるような福祉施設を備えた、モダンでオープン、かつ包括的なオフィス環境の中で働くことが、最高のパフォーマンスを発揮できると信じています。

新オフィスは、人間工学に基づいて設計されたワークステーションやコラボレーション可能なミーティングスペースなど、健康的な職場環境を促進するように構成されています。例えば、すべての会議室にはアイレベルカメラと壁面スクリーンを設置し、バーチャルミーティングに対応できるようにしました。また、社員は携帯電話のアプリでオフィスにアクセスし、そのモバイルデバイスからチェックインして、アプリからホットシートに誘導されることができます。

10. KKO インターナショナル、スペインでの大量ココア受注で 11%急伸 (3/11)

ベルギー市場に上場しているコートジボアールのカカオ豆生産及びチョコレート製造会社である KKO インターナショナル(ALKKO.PA)の株式は、スペインのイベルカカオ社との 2022 年のココアスの重要な注文を完了した後、金曜日の朝に約 11%上昇した。この注文数は総量 1,000 トンをカバーし、さらに 1,500 トンまで追加で延長することができる内容だ。KKO 社のユニークな特徴は、コートジボアールでカカオの栽培から、カカオの加工、チョコレート製造まで一貫して行っている所である。

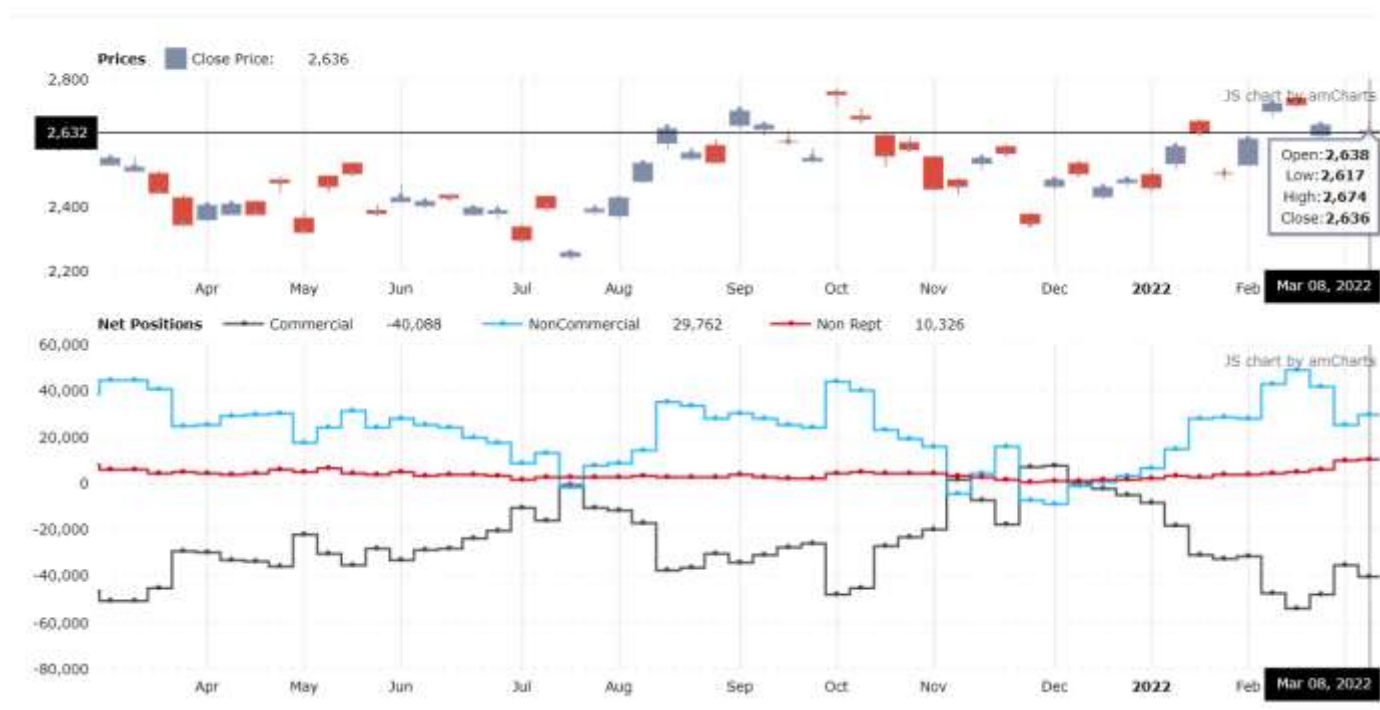
11. ファンド勢のNY先物は純買い越しポジションを増加(3/12)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 8,953 ロット増やし、23,915 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、3月8日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は 308 増加し (先週は 9,845 減少) し、55,650 ロット。
- 総売り数量は先週より 8,645 ロット増加 (先週は 9,049 ロットの増加) し、31,735 ロットとなった。

参考分析資料；過去 1 年の NY 市場の実需家 VS 投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



12. 投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが減少。(3/12)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 1,8597 ロット減らして (先週は **8,927 ロット** の増加)、12,499 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、3月8日) の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去 8 週で一番少ない数字
- 買いポジションの総量は 3 月 8 日までで、前週より 3,731 減少し (先週は 1,506 ロット減少) し、30,512 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は 3 月 8 日までで、前週より 1,872 減少 (先週は 7,421 ロット増加) し、18,013 ロットとなった。

参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders

Futures only

ICE Futures Europe

08/03/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
08/03/2022	274594	164497	178190	27335	41875	14226	27852	18746	12151
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader									
08/03/2022	100%	59.9%	64.9%	10.0%	15.2%	5.2%	10.1%	6.8%	4.4%
Number of Traders in Each Category									
08/03/2022	136	51	42	11	9	10	21	20	11

13. 新商品紹介：台湾発！食べるお茶チョコが日本初上陸

台湾の酒類・食品の卸売・販売などを手がける金門湾株式会社 (本社：東京都墨田区、代表取締役：葉 宇立) は、食べるお茶チョコ「hapidae (はぴだえ)」の試食販売を東京都中央区日本橋室町「COREDO (コレド) 室町テラス」2階のメインテナント「誠品生活日本橋」の店頭で3月12日 (土) より数量限定で開始した。

「hapidae (はぴだえ)」は、台湾産の厳選された3種の高級烏龍茶の茶葉を乾燥させ、それぞれ異なるテイストのチョコレートでコーティングされた商品で、噛むほどに烏龍茶の葉が香り立つお茶好きにはたまらない逸品となっている。

台湾発！「食べるお茶」チョコ



ラインナップは「蜜烏龍茶葉×ホワイトチョコレート」、「緑烏龍茶葉×ミルクチョコレート」「黒烏龍茶葉×カカオ72%ダークチョコレート」の3種だ。

台湾の美味しいお茶を多くの人に知ってもらいたいとの思いから、「お茶を食べる」という新しい概念を打ち出したスイーツとなっている。

*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://www.value-press.com/pressrelease/291494>

*商品紹介ページはこちら

<https://bit.ly/3tHmidW>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。